

5月SA講話

○新学期が始まり1月が経ちました。年度初めの慌ただしい気持ちも、ゴールデンウィークをはさみ、落ち着いてきたことでしょう。

1年生も本校での生活に少しずつ慣れてきたことと思います。

そこで、「芸術文化を通して社会を豊かにする人」を目指し、本校で学んでいるみなさんに、3つのことをお願いしたいと思います。

○1つめは、

「芸術を専門に学ぶことで、どのような人間になろうとするのか。また、学んだことを世の中にどのような形で還元するのか」

について、考えて欲しいということです。

これはみなさん自身の生き方の問題ですので決まった答えはありません。また先々変わることもあるでしょう。

しかし現時点で、自分なりの考えを、必ずもっておいて欲しいと思います。

○2つめは、先ほどの答えに対し、それを実現するための具体的な方策を考え、実行して欲しいということです。

1年生には既にお話しましたが、メジャーリーグ・エンゼルスの大谷将平選手は高校時代ドラフト1位で8球団に指名される、というゴールを設定し、マンダラチャートを使って、何をしなければならないかを具体化し、実行したそうです。

もちろん、それをやったからといって全ての人が大谷選手のようにになれるわけではありませんが、大谷選手がそれを行わなかったら今のような活躍もなかったと思います。

詳しくはネットで、マンダラチャート、大谷将平と検索してみてください。

○3つめは、できるだけたくさんの良質なものに触れ、吸収して欲しいと言うことです。

自分の専門や興味のあることだけでなく、例えば音楽科の生徒が美術の作品に触れたり、また反対に美術家の生徒が音楽に触れたりすることは、今すぐ直接的に自分の学びに結びつかないとしても、何らかの形で自分の生き方を豊かにしてくれます。

そして芸術が自分を表現するものである以上、自分を豊かにすることは何ものにも代えがたい財産です。

一つの創造的なアウトプットは、その何百、何千倍ものインプットなしには生まれることはありません。

ですから、芸術に限らず、本、新聞、スポーツ、そして他者との対話など、積極的にたくさんものを吸収してください。

○最後に、これからたくさんの行事やコンクールなどが行われます。今年は状況が許す限り実施していきたいと考えています。既にPTA総会や、M科の美術鑑賞、吹奏楽部の合同コンサート等実施することができました。

とはいえ、新型コロナウイルスの状況は決して楽観視できるものではありません。本校で感染者が出てしまうと、これらの活動を中止や縮小しなければならないかもしれません。

これまでも十分な対策をしてもらっていますが、検温、手洗い、不織布マスクの正しい着用、食事の際の黙食、等、変わらず慎重な行動をお願いします。